

幕張BRT事業について

1. 現況と連節バスの代替事業等

- ・NOx法により平成10年に導入した連節バスの使用期限が迫っていたことから、代替を契機に利便性向上を図るため、「地域公共交通活性化法」を活用して以下各事業を実施した。

(1) 新型連節バスの導入

- ・連節バスをベンツ社製に代替した。新型は1両ごとに異なるラインカラーを塗装。本年3月上旬に10両の代替が完了し、本年度中に更に5両導入し15両体制になる予定。



(2) IC専用乗車口の新設（日本初）

- ・連節バス最前部乗降口に運賃箱搭載ICリーダーライトとは別のリーダーライトを設置し、前払い方式（幕張新都心→幕張本郷駅）の系統にて、2列同時乗車を実施。各停留所より幕張本郷駅まで利用される、大人運賃1名分を支払うICカード利用者のみIC専用乗車口をご利用いただけるシステム。



(3) 鉄道運行情報の提供

（バスでのJR線の情報提供は日本初）

- ・連節バス車内及び主要停留所にて総武線・京成線・京葉線・武蔵野線の運行情報及び幕張本郷駅・海浜幕張駅の電車発車時刻を表示。



(4) その他

- ・バス停でバスの接近情報（「あと〇分でバスが来ます」といった情報）が確認できるバスロケーションシステムや、幕張本郷駅へのバスのりば・発車時刻案内表示器を導入した。